

新・支援センター 現地見学会を開催します

市民活動支援センターの共同事務所、並びに各団体などの活動・会議場所としての利用をお考えの皆さんを対象に、現地にて見学会を開催いたします。

実際に内部をご覧いただき、各団体の活動に適しているかどうかなど、判断の材料としていただけるかと思えます。

◆日時 2月1日(木)

午後1時から午後2時まで

◆場所 旧富良野信金赤平支店

※ご都合の悪い方につきましては、遠慮なさらずに、支援センター(Tel 32-3888)まで、ご連絡ください。



ありがとう

支援センターラビカ「あ、の活動にご協力いただき方です。ありがとうございました。」

早坂善幸さん、鈴木めぐみさん

植松 努さん、菅原徳義さん

新関 博さん、浅水 章さん

*ここ最近のボランティア状況についてのお知らせでした。ご芳名もれの方がおりましたら、お許しいただきたく思います。

ラビカの 屋根裏部屋

神田 隆

しっこいけれど、もう一度！

何ごと行政(市、道、国)や組織、市会議員、国会議員に任せたり、頼ったりするだけでは、自分の生活を守り楽しい人生を送るために、自分は何をしなければならぬのか、何が出来るのかということを考えなくても過ごすことが出来る。

これが長い間続く(好景気やバブルの時期)と、人間は何かの問題が起きたときに、その解決のためにどのような方法があるのかを考える力、思考力が停止してしまう。

夕張では、財政再建団体になって、どこを批判しても、どこに要請しても解決の兆しが見えないなかで、はじめて住民自身が考えて、博物館を残す、映画祭を継続する、地域の連携を呼びかける、という取り組みが始まっている。

この取り組みがもっと早くに始まっていたらと思う。赤平の現状を考えると大きな教訓となるのではないか。

最近読んだ「アンダーグラウンド(村上春樹)」で、「オウム事件に優秀な学歴を持った人間が陥ったのは、自分で考えることが面倒になり、麻原に全てを一任した結果では」という指摘を思い出す。



<発行>NPO法人赤平市民活動支援センター 〒079-1136 赤平市本町3丁目1番8(赤平市公民館内) TEL・FAX 32-3888

<発行責任者・表紙>新出郁子(広報部チーフ) <編集者>佐藤智子(広報部)・本田憲司(広報部)・川崎 哲(NPO職員)

E-mail : rabika@mocha.ocn.ne.jp URL : http://rabika.sakura.ne.jp/